

経営革新計画とものづくり補助金で 新製品の開発と売り上げ増を実現

課題

事業を支える新製品を開発したい

昭和 55 年に有限会社として創業し、衣料品のマフラーの製造・販売を始めた株式会社徳光。昭和 60 年に生産の拠点を海外に移し、おもに中国で生産したものを輸入する販売体制を確立した。

マフラー以外にも扱う商品を徐々に増やし、手袋、バッグ、帽子、その他婦人雑貨小物にまで広げた同社は、平成 3 年に現在の株式会社に組織変更すると、東京支店のほか、上海にも連絡事務所を設立。中国とのパイプを強化し、平成 20 年には、連絡事務所を中国独資会社へ組織変更して、中国内で独自に輸出入を行うことができる権利も獲得した。

平成 25 年には新事業の縫製事業も開始したが、繊維業界は全体的に事業規模が縮小傾向だったため、消費者ニーズにあった新製品の開発に取り組むことを決めた同社。技術的には可能でも、商品の製造に必要な高性能のミシンを揃えるための資金をどう工面するかが課題だった。

そこで同社は、足利市坂西商工会に相談。商工会の支援のもとで、製造工程の IT 化・自動化を目的とした、経営革新計画の策定とものづくり補助金の申請を行うことになった。

支援

事業計画で経営の 中長期ビジョンを可視化

経営者が事業計画を立てた経験がなかったため、商工会は中小企業診断士の専門家派遣も行いながら、新商品開発に向けての具体的なスケジュールの作成や、事業所の SWOT 分析、そこから読み取れる今後向かうべき方針の検討など、事業計画策定のきめ細やかなサポートを行った。

こうした支援により、平成 26 年に経営革新計画の認定とものづくり補助金の採択を得られた同社。さっそく新設備の高性能ミシンを導入し、新製品開発に向けて動き出した。しかし、経営者が考案した介護用のオーダーメイドクッションは、消費者ニーズはあるものの、どうしてもサイズが大きくなってしまい、価格が高くなる。また、宣伝がうまくいかず、消費者への認知が進まないという新たな課題にぶつかった。

サイズや製品の見直しを行い、健康志向の抗菌パジャマの開発に方針転換することしたが、高い縫製技術を身につけるには時間がかかるため、短期間で誰でも一定レベルの品質で



平成 26 年にものづくり補助金で導入したミシン

製造できる技法や生産力の向上が必要だった。

これらを見据え、商工会は再度、中長期的な事業計画を策定。新設備の導入で生産性がどのくらい向上するのかを検討し、再び経営革新計画とものづくり補助金の申請を行った。

2 度の事業計画策定を行ったことで、経営者の頭の中でしたか表せなかった会社の今後の中長期計画を可視化することができた。また、2 度の設備投資により製造できる製品の幅が広がり、抗菌パジャマなど健康志向の新製品開発も行えるようになった。新たな取引先の開拓が期待されている。

支援の経過

期間	支援内容
H26年3月	経営革新計画の策定支援 (8月承認)、ものづくり補助金の申請支援
7月	ものづくり補助金採択
H30年2月	経営革新計画の策定支援 (3月承認)、ものづくり補助金の申請支援
7月	ものづくり補助金採択

会社概要

会社名：株式会社徳光
 住所：栃木県足利市葉鹿町1-28-7
 電話番号：0284-62-5575
 URL：http://www.tokumitsu.co.jp
 代表者名：代表取締役社長 寺内徳樹
 創業年：昭和55年
 従業員数：39名
 商工会名・担当者名：足利市坂西商工会・田崎宏司